

活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	應典院寺町倶楽部
活動テーマ	寺院を拠点したグリーン・コミュニティのネットワーキング (2010年度主題:「ロスト・チャレンジ」のためのコミュニケーションデザインの実践)



当会では、対象を喪失した悲しみ「グリーン」を受け止めていく支え合いのネットワーク・コミュニティの創出と手法の確立に寺院を拠点として取り組んできました。とりわけ、葬送儀礼の力に着目し、喪われつつある死生観を顕在化させ、多様な学びの場と学び合いの機会の提供に努めました。

2010年度は関西地域に拠点を置く多様な団体と協力し、「死と生」を語り、他者を支え合う気づきの場を創出いたしました。詩作等を通じて自らの思いを言葉にしたものを参加者どうしで分かち合うなどの工夫を行い、そうした多彩な表現の機会を設けることで悲嘆の記憶を丁寧に扱うこととなりました。

ただし、申請時には文字通り「想定外」だった東日本大震災を受け、震災がもたらした問いを宗教者・宗教学者・在宅医療者・市民活動者などによる講演会・シンポジウムにも力点を置いていくことといたしました。そして、大きな悲しみと不安の時代に、どのような場と機会を創出することが妥当か、精緻な検討を重ねて参りました。とりわけ、「今」という時代にどのような意味があるのかについて「見つめる」そして「遺す」ことに力点を置き、単なる講演会に留めないセミナーの実施と「音声記録」としてインターネットラジオ「Radio Lost Challenge」という活動に取り組みました。

「ロストチャレンジ」とは、米国において、障害のある方を「チャレンジド」と呼ぶことから着想したものです。喪失体験からの回復のさなかにある方々が、時間をかけて安定した精神状態に落ち着くことについて話を伺う場を設けるとともに、それを別の機会に改めて伺うことで、まるで「歌が記憶を呼び覚ます」が如く、語った側も伺った側も、またいつか、どこかで「そのとき」の経験を紐解いていただけるよう工夫を重ねました。